

一般住宅・特定目的住宅 入居申込書(令和8年2月募集)

令和8年 月 日
(あて先)神戸市長

入居申込案内書の掲載事項を了承のうえ、以下のとおり申込みます。
この申込書の記入内容について、申込受付後の変更ができないことを了承しました。
この申込書に虚偽や事実と異なる事項が記入されている場合、必要事項の記入漏れなど不備がある場合は、
申込を無効とされても異議を申し立てません。

■一般住宅に申込希望の方

一般住宅 申込番号 〔 301番 ～411番 〕			
-----------------------------------	--	--	--

■特定目的住宅に申込希望の方

特定目的住宅 申込番号 〔 801番 ～891番 〕			
-------------------------------------	--	--	--

■次の事項について、1, 2いずれかの口に必ず
✓印をつけてください。

申込名義人又は 同居しようとする親族 に暴力団員はいない	1. ☐ い ない 2. ☐ い る
生活保護受給の有無	1. ☐ あ り 2. ☐ な し
別居扶養の有無	1. ☐ あ り 2. ☐ な し

抽選倍率の優遇制度について、次の1, 2, 3. の該当する口に ✓印をつけてください。
当選後の資格審査で記入内容に誤りがあれば「失格」になりますので、ご注意ください。

(詳しくは「入居申込案内書」
30～31ページをご確認ください。)

1. 落選回数について、①～⑦の中から該当する回数の口に必ず ✓印をつけてください。
※ ✓印の記入がない場合は「①(0～4回)」の落選とさせていただきます。

① ☐	② ☐	③ ☐	④ ☐	⑤ ☐	⑥ ☐	⑦ ☐
(0 ～ 4回)	(5 ～ 9回)	(10 ～ 14回)	(15 ～ 19回)	(20 ～ 24回)	(25 ～ 29回)	(30回以上)

3. 世帯の状況について、次の1又は2のうち該当する口に必ず ✓印をつけ、ア～スのいずれかの口にも必ず ✓印をつけて
ください。 (年齢は令和8年2月9日現在の満年齢です。)
※ いずれの口にも✓印の記入がない場合は、「ス 上記に当てはまらない世帯」とさせていただきます。

1. ☐	ア. ☐ 65歳以上の方のみの世帯(単身者も対象)
	イ. ☐ いずれか一方が65歳以上の夫婦のみの世帯(他に65歳以上の方がいる世帯も対象)
	ウ. ☐ 65歳以上の方(いずれか一方が65歳以上の夫婦を含む)と18歳未満の児童のみの世帯
	エ. ☐ 中度以上の障害者等がいる世帯(難病患者も対象)
	オ. ☐ 配偶者又はライフパートナー等のいない方で、扶養している20歳未満の子が同居している母子のみ 又は父子のみの世帯(他に扶養している20才以上の子が同居している場合も対象)
	カ. ☐ 夫婦(婚約者・内縁を含む)の合計年齢が70歳以下のみの世帯
	キ. ☐ 18歳未満の子が3人以上同居している親子のみの世帯 (他に扶養している18歳以上の子が同居している場合も対象)
	ク. ☐ ハンセン病療養所入所者等
	ケ. ☐ 義務教育就学年齢(中学生)以下の子と同居している親子のみの世帯 (他に扶養している義務教育就学年齢(中学生)超の子が同居している場合も対象)
	コ. ☐ DV(配偶者等からの暴力)被害者がいる世帯
	サ. ☐ 中国残留邦人等世帯 ※国が発行する本人の帰国証明書が必要
	シ. ☐ 警察の証明書等で確認できる犯罪被害者世帯
	2. ☐

申 込 名 義 人	現 住 所	郵便番号										携 帯 番 号		— —															
	現 住 宅 別 種	1. ☐ 民間賃貸住宅										2. ☐ 公社・UR住宅																	
		3. ☐ 市営住宅 ※多世代の近居申込 ☐ あり										4. ☐ 県営住宅 ※多世代の近居申込 ☐ あり																	
		5. ☐ 持家(☐ 売却又は名義変更予定 ☐ 解体予定 ☐ 申込世帯以外の親族名義 ☐ 土砂災害特別警戒区域内)										神戸市内に 勤めていますか																	
		9. ☐ その他()										1. ☐ は い 2. ☐ いいえ																	
①	フリガナ			性 別	続 柄	続 柄 コード	生 年 月 日 (和 暦)	年 齢	年間総収入金額(円)		寡 婦 (控 除)	ひ ー (控 除 親)	手帳等の種類(等級)				指 定 難 病												
	氏 名		種 類						事業等の場合は 年間総所得金額	身 体 障 害 者 手 帳			療 育 手 帳 (知的障害)	精 神 障 害 者 保 健 福 祉 手 帳	障 害 年 金														
	①															男・女		本 人	0 1	T S H R ・ ・		給 与 年 金 事 業 等	有	有	1・2・3 4・5・6	A・B1・B2	1・2・3	1・2	有
②		男・女			T S H R ・ ・		給 与 年 金 事 業 等	有	有	1・2・3 4・5・6	A・B1・B2	1・2・3	1・2	有															
															③		男・女			T S H R ・ ・		給 与 年 金 事 業 等	有	有	1・2・3 4・5・6	A・B1・B2	1・2・3	1・2	有
④		男・女			T S H R ・ ・		給 与 年 金 事 業 等	有	有	1・2・3 4・5・6	A・B1・B2	1・2・3	1・2	有															
															⑤		男・女			T S H R ・ ・		給 与 年 金 事 業 等	有	有	1・2・3 4・5・6	A・B1・B2	1・2・3	1・2	有

※ 世帯人数が6人以上で記入欄が足りない方は、同じ内容を記入した別紙を添付してください。 ※ 現住所以外に書類送付希望の場合のみ記入してください。

書 類 等 送付先住所	郵便番号
(様方)	

2. 阪神・淡路大震災被災者資格について、該当する口に必ず ✓印をつけてください。
※ ✓印の記入がない場合は「両方とも提出できない、または一方だけ提出できる」とさせていただきます。

A 被災した場所について	
1. ☐ 神戸市内で被災	2. ☐ 神戸市外で被災
B 全壊(全焼)、半壊(半焼)の罹災証明書と 家屋の解体証明書又は解体予定であることを証する書類の	
1. ☐ 両方とも提出できない、または一方だけ提出できる	2. ☐ 両方とも提出できる

4. 住宅の困窮理由について、次の1～10の中から該当する口の全てに ✓印をつけてください。

1. ☐	倉庫・事務所など住宅でない建物に居住している
2. ☐	災害の危険があるような半壊住宅やバラックに住んでいる
3. ☐	他の世帯と同居していて、便所又は炊事場が共同である
4. ☐	住宅がないため、親族と別居している
5. ☐	部屋が狭い(1人あたり4. 5畳以下、又は最低居住面積以下)
6. ☐	正当な退去要求を受けているが、立退き先がない(自己の責めに帰する場合は除く)
7. ☐	通勤に片道1時間半以上かかる(電車等の待ち時間を除く)
8. ☐	収入と比較して家賃が高すぎる
9. ☐	婚約しているが、住宅がないため結婚が延びている
10. ☐	その他、客観的にみて、上記のいずれかと同じような理由により住宅に非常に困っている (騒音・日当たり等、生活環境による理由は該当しません。)
	理由:

(抽選結果等通知用)

切手貼付箇所

85円
必ず切手を
貼ってください

※切手を貼っていない場合は、抽選結果の通知をいたしかねますのでご了承ください。